

上野通明さん応援レポート

夜クラシック Vol.15

仲道郁代(ピアノ) 成田達輝(ヴァイオリン) 上野通明(チェロ)

2018年1月25日(木)

文京シビックホール 大ホール

平日夜の室内楽シリーズ

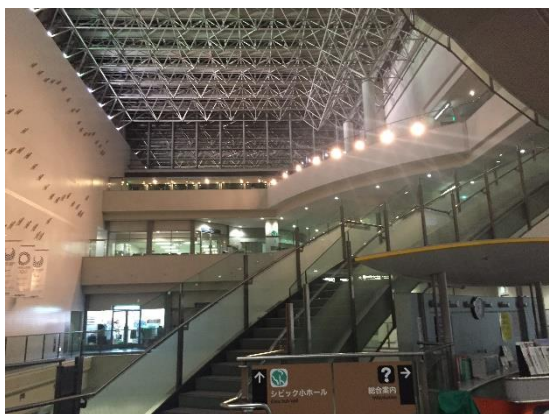
2018年1月25日(木)に開催された、文京シビックホールの「夜クラシック」シリーズ、「Vol.15 仲道郁代(ピアノ) 成田達輝(ヴァイオリン) 上野通明(チェロ)」。
上野通明さんが出演した。

「夜クラシック」は、文京シビックホールの人気シリーズ。

『年間4回、人気実力派アーティストが、気さくなトークを交えながら得意とする名曲をお届けする室内楽シリーズ』と位置付けられている。

「夜」にちなんで、シリーズのテーマ曲であるドビュッシーの「月の光」が、各回のアーティストによって演奏される。公演ごとの音色の違いをあげわうのも楽しみのひとつとなっているようだ。

シリーズVol.15の当日の演奏会、会場SNSでは、『ピアノクィーン仲道郁代と注目を集める若きストリングマイスターの共演!』と華やかに紹介されている。



会場の「響きの森文京公会堂、文京シビックホール」は東京・文京区の総合施設。大ホールは約1,800席を有する大型ホールである。

地下鉄4線に囲まれ、地下鉄駅から直結という好立地。

19時半という遅めの開演時間やトーク付きの親しみやすさという設定とともに、人気を支えているようだ。

初共演。アンサンブルを和やかに

プログラムは全7曲。それぞれのソロから仲道氏と上野さん、成田さん、各々のデュオ、そしてトリオまで、ピアノとヴァイオリン、チェロを堪能するプログラムが組まれている。

お三方とも、それぞれ初共演。初顔合わせでのアンサンブルは、また思いがけない化学反応があったりするそうだ。

オープニングは仲道氏による「月の光」。しっとり響き渡る音色に、これから始まる演奏会に向けて、心が洗われるような気分になる。



リハーサル時のお三方

静かな空気感のなか、上野さんが登場。バッハの無伴奏チェロ組曲第1番よりプレリュード。「・・・チェロを弾くきっかけとなり、一生かけて弾いていきたい曲」という大切な曲を、しっとりと聴かせてくれたのち、仲道氏とのデュオでドヴォルザーク「森の静けさ」を披露。自然と共感するかのような穏やかな音色を響かせた。

成田さんのソロ、デュオ、仲道氏のソロののち、ブラームスの「ピアノ三重奏曲 第1番」、トリオ演奏がはじまった。

ピアニストの仲道氏、にこやかに、温かく、包み込むように若手二人をリード。弦の二人の息の合い方、波長の合い方。アイコンタクトの瞬間もぴったり。

丁々発止と攻め込み合う演奏も聴いていて楽しいが、お互いの理解のもと自然に調和しているのだろうかと感じる演奏も、聴いているものに心地よさを与えるというか、安心感をもたらすというか。とても心穏やかな気分にならせてもらった。

大きな拍手に応えてのアンコール曲は、メンデルスゾーンのパiano三重奏曲第1番第2楽章。アンコール演奏が終わっても、さらに何度もカーテンコール。会場全体が、大変に盛り上がったの終演だった。



文京シビックホール 大ホール

幅のふくらみに感じる充実した留学生活



Michiaki Ueno
Cello Recital

上野
通明

チェロリサイタル

東京音楽コンクール入賞者リサイタル

ピアノ：須関裕子

2018年3月5日(月) 18:30 開場
19:00 開演

東京文化会館 小ホール

入場料：3000円【全席自由】

チケット販売：2月5日(土)の夜より発売(9時) 全席無引当

チケット販売
イーブリス eplus.jp<PC&携帯>
チケットぴあ 0570-05-9900 予約/観覧専用・Pコード：782-8891 e_plus.jp
東京文化会館チケットサービス 03-5585-0656

主催：アンドビジョン株式会社 Tel.03-3278-3459
〒104-0031 東京都中央区銀座1-5-5 5階 時間じらさF info@aandvision.net
共催：東京文化会館(公益財団法人東京芸術文化財団)

PROGRAM	
マナーチェロ: I. Jantzen	おとぎ話 Fables
リグネイ: C. Ligeti	無伴奏チェロソナタ Sonata for Solo Cello
ストラヴィンスキー: I. Stravinsky	イタリア組曲 Suite Italienne
デュティユー: H. Dutilleul	ザッハーの名による 3つのストロブエ 3 Straphes sur le nom de Zacher
ブラームス: J. Brahms	チェロソナタ第2番 ヘ長調 作品99 Sonata for Cello and Piano No.2 in F major, Op. 99

この演奏会のすぐ後日には、留学先のデュッセルドルフへとふたたび戻った上野さん。「…今年度はなるべくじっくりと留学先で時間を過ごしたい」と年初に話していたとおり、充実した留学生活を送っているようだ。

学校を代表してポスターに登場(街のあちこち、掲示だらけだったらしい)、デュッセルドルフでもコンツェルト演奏の機会をいただくなど、留学先での活躍も目覚ましい。帰国のたびに、演奏の深まりや幅のふくらみが感じられる。とてもいい環境のなか、技術や感性を磨いているのだろうなあと思いを馳せる。

次の日本での演奏会は3月。5日には、東京文化会館でのリサイタルも予定されている。ふたたび、曲への共感のこもった演奏を聴かせてくれることだろう。

上野さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！

3月のリサイタルのフライヤー

<1月25日 演奏会概要>

◆出演

仲道郁代(ピアノ)
成田達輝(ヴァイオリン)
上野通明(チェロ)

◆プログラム

ドビュッシー／月の光
バッハ／無伴奏チェロ組曲 第1番より
ドヴォルザーク／森の静けさ
バッハ／無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番より
ドヴォルザーク／スラヴ舞曲 第2集より
シューマン／「3つのロマンス」より
ブラームス／ピアノ三重奏曲 第1番

◆アンコール

メンデルスゾーン／ピアノ三重奏曲第1番第2楽章



楽屋にて